
田中玄伯氏直伝のサイキックパワー？

念力でゴム風船を割る！

村田憲治（加納高校）quz@he.mirai.or.jp

去る1月25日（日）、京都の立命館大学国際平和ミュージアムで行われた ジャパン・スケプティクス Japan Skeptics（超常現象を科学的・批判的に究明する会）主催の「教室でできる『超能力』講座」に参加してきました。

超能力マジシャン 田中玄伯氏の驚くべきワザの数々

僕も一応 講師の一人（笑）で、「素手で蛍光灯を点灯させる」とか、「レンガ割り」なんかをやってきたのですが、なんととっても一番目を引いたのは長浜市立長浜北中学校教諭の田中^{つねみち}玄伯さんの〈超能力マジック〉でした。



【スプーンをぐにゃぐにゃに曲げてしまった田中氏】

田中さんは、日本テレビ系で放映していた「投稿！特ホウ王国2」という番組の中で「ルービックキューブをあっというまに完成させる男」として一躍有名になった方で、この日も定番の「スプーン曲げ」から始まって、「ポラロイドカメラで念写」、「念力でガラスのコップを粉々に割る」などの驚くべきワザを次々と繰り出し、参加者を大いに湧かせていました。

念力でゴム風船を割る！

その田中さんに教えてもらった〈超能力マジック〉をひとつ紹介します。

「どこにでもあるゴム風船をふつうにふくらませて手で軽く持ち、『えいっ』と〈念〉を送ると数秒で風船が『パーン！』とすごい音をたてて破裂する」というマジックです。

仕掛けはカンタン。指先を灯油で濡らしておき、それを風船にチョイとつけるだけです。灯油がゴム風船を溶かすわけですが、風船のふくらませ方が足りないと（ゴム膜が厚くて）なかなか割れませんし、あまり大きくふくらませすぎると、すぐに割れてしまいます。何度か練習して適度なゴム膜の厚さを調べる必要がありますし、つける灯油の量も極端に多いと観客に見破られてしまいます。練習あるのみです（笑）。

田中さんの著書「『超能力』授業入門」が近々出版されます

こんな楽しい〈超能力マジック〉の数々を紹介した田中氏の著書「『超能力』授業入門」（安齋育郎監修「講座・超常現象を科学する」第7巻・かもがわ出版・¥1,500）が3月に出版予定です。

理科の授業に〈超能力マジック〉を取り入れることの意味についても、深い考察があります（グラを見せてもらったのだ）。こりゃ、必読図書ですぞ。